



高岡西部小だより

令和8年3月12日 発行 最終号

高岡市立高岡西部小学校



高西小 HP

★忘れられない6年生の歩み

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。



今年の6年生は、入学してすぐに新型コロナウイルスによる臨時休校を経験しました。学校が再開してからも、高い段ボールパネルを立てた給食等、多くの制限の中で学校生活を送ってきました。運動会や学習発表会等の行事も思うように実施できない時期があり、我慢を重ねてきました。その後、学校が再開し、みんながそろって登校できることを、これほどうれしく感じたことはなかったのではないのでしょうか。



そして、元日の能登半島地震。3校の閉校と高岡西部小学校の開校を経験し、振り返れば、この6年間は、これまで誰も経験したことのない出来事が続いた年月でもありました。

地震を経験した本校では、地域の皆様とともに「地域合同避難訓練」を実施しましたが、その中心となって動いてくれたのが今の6年生でした。地域の方々とともに命を守る行動について学び、真剣に取り組む姿は大変頼もしいものでした。



子供たちは、どんなときも前を向き、仲間とともに歩んできました。特に本校の開校にあたっては、たくさんの知恵やアイデアを出し合い、「自分たちで学校を創ろう」と主体的に関わってくれました。その姿は、本校の大きな誇りです。こうした日々を支えてくださったご家族の皆様、地域の皆様の変わらぬお力添えに、心より感謝申し上げます。

このような時代の中で、小学校生活を力強く歩んできた6年生は、私たちにとって忘れることのできない特別な学年でした。6年生一人一人の前途を祝し、これからの更なる活躍を願い、教職員一同、精いっぱい思いを込めて送り出したいと思います。

★珠洲市正院小学校との心の交流

あの能登半島地震から、早いもので2年2か月が過ぎました。これまで本校で集めてきた募金をもとに、珠洲市の正院小学校の皆さんへ贈り物を届けました。バスケットボールや楽器等をお送りしたところ、大変喜んでいただきました。先方からは、お礼として素敵な歌やメッセージのプレゼントをいただきました。離れていても、子供同士が笑顔で交流できることは本当に素敵なことだと感じました。

本校の子供たちは、オンラインで能登への思いを伝えました。「自分たちに何かできることはないか」と、これまでもずっと心を寄せてきた6年生です。自分たちの行動によって誰かが喜んでくれることほど、うれしいことはありません。子供たちの温かい思いは、確かに届いたのだと思います。



★6年生リーダーの提案から生まれた「あいさつ表彰式」



6年生のあいさつリーダーから、「元気なあいさつをしてくれた人を、ぜひ全校の前で表彰したい」との申し出がありました。そこで、早速全校集会を開くことにしました。

集会では、マントを羽織った「あいさつ3兄妹」が登場し、ステージ上で表彰式が行われました。会場は大いに盛り上がり、温かい雰囲気になりました。この取組をきっかけに、学校全体に元気なあいさつの輪がさらに広がっていくことを願っています。

★地域の魅力を伝えたい！3年生の挑戦

3年生は、総合的な学習の時間「高岡西部校区のすてきを見つけよう」に取り組んできました。

この学習は、高岡市地域おこし協力隊の方々との出会いをきっかけに、自分たちの住むまちの魅力を伝えたいという思いから始まりました。子供たちは地域を探検し、多くの方々と触れ合う中で、それぞれの「すてき」を見つけていきました。

緑地公園や金屋町、動物病院、かば焼き屋さん等を訪ね、自分たちの目を見て、人と触れ合いながら学習を進めました。そうした体験を通して、人の温かさや地域の伝統を守り続けてきた歩みについても知ることができました。

学びの成果はビデオ撮影し、DVDにまとめました。贈呈式を兼ねて校区の魅力を紹介し合う時間も設けました。地域おこし協力隊の和田さんからは、「魅力を伝えようとする思いが大人の心にまっすぐ届きました」とのお言葉をいただきました。子供たちは「60時間もかかったけれど、自分でもよくやったと思う」「人に伝えることの大変さが分かった」と振り返っていました。見付けるだけでなく、どうすれば相手に伝わるかを考えながら学ぶことができました。

地域の方々との交流を通して、子供たちは自分たちの住む地域のよさを実感することができました。今回の学習にご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。



★集団登校は子供たちの学びの場 ～班長が交代しました～

日頃より、集団登校に際し、ご家庭でのご配慮とご協力をいただき、ありがとうございます。この度、6年生から4・5年生へ登校班の班長が引き継がれました。新しいリーダーたちも張り切って班をまとめています。

集団登校は、子供たちの安全な登下校のために行っていますが、それだけではありません。先輩と後輩の縦のつながりの中で、自分だけでなく周りの人のことを考えて行動すること、遅れないよう早寝早起きを心がけるなど生活習慣を整えること、また遅れるときには「ごめんね。今日は遅れます」と相手に伝えることなど、人と関わる上で大切な姿勢を学ぶ機会にもなっています。

さらに、雨の日も雪の日も子供たちを見守ってくださる地域の皆様の温かい支えに気付く機会にもなっています。集団登校は、子供たちの社会性を育む大切な営みです。今後とも、ご家庭の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。